

# Imaging Conference JAPAN 2013

“Imaging Technology, Beyond Limitation”

～ イメージングテクノロジー，極限化に立ち向かう ～  
= 発表論文募集 Second Paper Call =

日本画像学会年次大会(通算第111回)“Imaging Conference JAPAN 2013”を下記要領にて開催いたします。「日本画像学会」は、最先端のイメージング領域に関する討論の場の提供を通じて、ハードコピーをはじめとする各種マーキング技術、電子ペーパー/エレクトロニック・イメージング/新規イメージング技術/デジタルファブリケーション技術などについて、それらの基礎研究や実用技術の発展に貢献しています。本年次大会は、これらの分野でご活躍中の多くの皆様が一堂に会し、日頃の研究や開発の成果発表を通じて活発な討論と意見交換ができる貴重な機会です。

情報・インフラの進歩に牽引されて、イメージング分野の発展への期待が高まっています。しかし、その一方でイメージングの主要な位置を占めてきたプリンティングでは、より取り見取りのアプリケーション、新技術目白押しの時代が過ぎて久しく、ノンインパクトプリンティングでは、以前は思いもよらなかった画質面でのオフセット印刷、銀塩写真との競争を果し、プリンティングテクノロジー全般が次代の軸を探る時期に突入したと言えます。

その中でDigital Fabricationが確固とした地位を占めるなど新たな発展を模索する動きも見えていますが、ここで、他の産業を見ると、例えば自動車産業などでは、走行、制動など基本性能の極限化をはるか以前に果しましたが、居住性、環境性、安全性などに関わる新たな価値を創造して継続的発展を続けています。

今回は『Imaging Technology, Beyond Limitation』と題して、プリンティングの技術極限化に如何に処していくべきかを探ります。

## 1. 会告

### 日時

2013年6月12日(水)、13日(木)、14日(金)

### 会場

東京工業大学 すずかけ台キャンパス  
すずかけホール 2F、3F  
〒226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259  
(東急田園都市線 すずかけ台駅 徒歩5分)

### 討論形式

- 頭発表あるいはインタラクティブ(ポスター発表)
- ・□頭発表：一般講演：20分(発表15分、質疑5分)
- ・招待講演：30分(発表25分、質疑5分)
- セッション終了後オーサズインタビュー開催(約20分)
- ・インタラクティブ：5分間のショートプレゼンテーション(質疑なし)、ポスター展示120分
- \*ベストポスター賞ならびに編集委員長賞が当日に選出され、懇親会にて表彰が行われます。

### 登壇資格

発表者は正会員または学生会員であること(招待講演者、海外発表者を除く)。但し、講演申込み時の入会にて発表者となることができます。

### 主催

一般社団法人 日本画像学会

### ビジネスセッション

6月12日(水)/3F 多目的ホール

イメージング技術を取り巻く市場やビジネスの最新展開から注目すべき動向にフォーカスした企画です。

実務の第一線で活躍されている中堅技術者、ミドルマネジメント向け。

### ワークショップ

6月13日(木)、14日(金)/2F 集会室2

先進的な技術テーマを取り上げ、小グループでのディスカッションを通して今後の発展の方策を探ります。

### 展示会

6月12日(水)、13日(木)、14日(金)/3F ラウンジ

画像技術、材料に関連する機器、デバイス、測定装置などの出展を企画しています。

### 懇親会

6月12日(水)/3F ラウンジ

発表者、展示会社との交流、情報交換の場です。

## 3. 研究発表募集分野

1. 電子写真  
プロセス、デバイス、材料、機構、ペーパーハンドリングなど
2. インクジェット  
ヘッド、インク、制御、記録メディア、応用、計測技術など
3. ダイレクトマーキング  
トナーマーキング、サーマルプリントなど
4. グリーンテクノロジー、省エネルギー関連技術
5. 電子ペーパー/エレクトロニック・イメージング  
電子ペーパー、リライタブルマーキングなど

## 2. 年次大会の概要

### テクニカルセッション

6月12日(水)、13日(木)、14日(金)

キーノートスピーチ、招待講演、一般講演、受賞記念講演を行います。年次大会の中核となるセッションです。

6. デジタルファブリケーション  
プリンテッドエレクトロニクス、3D造形、Bioプリントなど
7. 新規イメージング
8. 画像入力、画像処理 および ネットワーク  
スキャナー、ドキュメント管理、ソリューション技術など
9. 画像基礎 および 計測・評価
10. 光源、色・感性イメージング
11. シミュレーション

#### 4. 講演申し込み

イメージング分野に貢献する独創的な研究や技術開発の発表を募集いたします。講演形式は、口頭発表とインタラクティブ(ポスター発表)のいずれかをご希望ください。(口頭発表かインタラクティブかで優劣の差はございません。)

学会のICJ2013ウェブページから、講演申し込み用ウェブページにアクセスして、申し込みを行ってください。

##### 申し込み時必要事項

1. 講演題目(和文&英文)
2. 発表希望分野
3. 希望する講演方式(口頭発表、インタラクティブセッション)
4. 講演者氏名(和文&英文)
5. 年齢(2013年末時点)\*1、会員番号
6. 所属(和文&英文)
7. 連絡先の住所、電話番号、FAX、e-mailアドレス
8. 共著者の氏名および所属(和文&英文)
9. 講演の概要(300字以内)

\*1: 2013年12月31日時点で満40歳未満の方は2013年度研究奨励賞審査の対象となります。

##### 講演申込み先

[http://www.isj-imaging.org/event/conference/ICJ2013/ICJ2013\\_submission.html](http://www.isj-imaging.org/event/conference/ICJ2013/ICJ2013_submission.html)

##### 講演申し込み締め切り

2013年3月1日(金)

#### 5. 予稿原稿について

予稿原稿はA4、4枚以内です。予稿原稿作成支援のためのテンプレート(MS Word)を準備しておりますので、ご利用下さい。

予稿集は、発表者から提出された原稿のPDFファイルを元に、モノクロにてオフセット印刷により作成しますが、CD-ROM版予稿集にはカラー原稿のまま収録することができます。

予稿原稿提出の際は、電子ファイル(MS Wordファイルに限定します)を、予稿原稿用ウェブページからアップロードしていただきます。また、同ウェブページ上でPDF化を行います。

予稿原稿提出の詳細につきましては、予稿作成要領もしくは予稿投稿用ウェブページをご参照ください。予稿投稿用ウェブページは、講演申し込み締め切り後の3月上旬に開設いたします。

##### 予稿集用原稿締め切り

2013年4月5日(金)

#### 6. 展示会

会期中、昨年に引き続き、画像技術、材料に関連しての展示会を開催いたします。

ただ今、出展企業の募集を行っております。多くのイメージング関連企業様にご出展いただけますよう、ご検討の程、宜しくお願ひ申し上げます。

申し込み方法等の詳細は、学会のICJ2013ウェブページをご覧ください。

#### 7. お問い合わせ

ICJ2013に関する最新情報を、学会ホームページに掲載いたしておりますのでご覧下さい。

##### 日本画像学会ホームページ

<http://www.isj-imaging.org/isj.html>

##### ICJ2013ウェブページ

[http://www.isj-imaging.org/event/conference/ICJ2013/ICJ2013\\_info.html](http://www.isj-imaging.org/event/conference/ICJ2013/ICJ2013_info.html)

##### 事務局

〒164-8678

東京都中野区本町2-9-5 東京工芸大学内

日本画像学会 年次大会 係

Tel: 03-3373-9576 Fax:03-3372-4414

##### e-mailでのお問い合わせ

ICJ2013について [event@isj-imaging.org](mailto:event@isj-imaging.org)

日本画像学会について [info@isj-imaging.org](mailto:info@isj-imaging.org)